

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	吉祥寺二葉栄養調理専門職学校
設置者名	学校法人 二葉総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
栄養専門課程	管理栄養士科 (4年制)	夜・ 通信	16単位	13単位	
	栄養士科 (2年制)	夜・ 通信	12単位	7単位	
調理専門課程	調理実践科 (2年制)	夜・ 通信	9単位 (270時間)	7単位 (160時間)	
	調理師科 (1年制)	夜・ 通信	6単位	4単位	
(備考) () 内の数字 (○時間) は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の实務経験に関するチェック欄あり。 (掲載 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/◆A-2026実務経験のある教員等による授業科目の一覧表.pdf)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	吉祥寺二葉栄養調理専門職学校
設置者名	学校法人 二葉総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
<https://futaba-sogo.ac.jp/information/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2023.4.1～ 2027.3.31	組織運営体制
非常勤	社会福祉法人理事長	2025.5.30～ 2027.3.31	教育内容・学科編成 に対する専門的知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	吉祥寺二葉栄養調理専門職学校
設置者名	学校法人 二葉総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 管理栄養士科 昼間部(4年制)、栄養士科 昼間部(2年制)、調理実践科 昼間部(2年制)、調理師科 昼間部(1年制) 【作成について】 各授業科目については、毎年度、栄養専門課程・調理専門課程の運営会議において、学則に定められている各授業科目の講義内容についての検討・検証を行い、それに基づき各科目を担当する教員が作成している。 シラバス作成フォームは、授業科目名、必要時間、単位数、担当教員名、授業の到達目標、授業概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項、を記載する様式となっている。全学科全科目にて、学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【時期について】 翌年度のシラバスは1月～2月に担当教員が作成する。3月の運営会議にて承認後、4月には学生ポータルにて学生に開示、5月にHP上に公開する。	
授業計画書の公表方法	掲載： 管理栄養士科 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/2026_管理栄養士科シラバス.pdf 栄養士科 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/2026_栄養士科シラバス.pdf 調理実践科 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/2026_調理実践科シラバス.pdf 調理師科 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/2026_調理師科シラバス.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則および学則運営規定にて、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポート等含む）により成績評価を行っている。 (参考) 学生便覧（卒業審査基準、進級審査基準） 卒業については、学科ごとに定められた所定の全授業科目について合格することがその要件となる。また、進級に関しては、該当年度の科目を全て合格することが原則である。1年次においては、定められた科目数（単位数）以上を修得することによって進級することとしている。 学生便覧（試験および課題・レポート提出） 成績評価は定期試験及び実技試験、レポート等の評点にて評価し、最終評価としては100点満点中60点以上を合格とする。合格者は当該科目の履修が認定される。 なお、各科目の全授業回数のうち2/3以上の出席が認められない学生については、定期試験の受験資格がないものとし、成績評価の対象外となる。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校の成績評価は、授業科目ごとに100点満点評価にて実施し、各学生の履修科目の平均点をもって成績の分布を把握している。GPAは導入していない。 当校では、独自の奨学金（特待生制度）や学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。 学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験等）、レポート等によって評価される。当校では各授業において評価を100点満点として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可として成績が通知される。 成績評価方法については、HPで公開する他、学生便覧（学則含む）を毎年全学生に配布することにより学生に通知している。更に、新入生には入学時オリエンテーションでも説明している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	掲 載： https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/◆D成績評価方法.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 吉祥寺二葉栄養調理専門職学校は、厚生労働大臣指定校として、国家資格を有する「食」の専門家として社会貢献のできる優秀な管理栄養士、栄養士、調理師を養成することを目的としている。 卒業要件に関しては、学科ごとに定められている全授業科目（厚生労働省規定を含む）に合格し、卒業年次の学年末に実施される卒業審査会議の審議を経て、認定された者のみと定めている。また、その詳細については、学生便覧に記載しており HP 上にも掲載している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	掲 載 : https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/◆E 進級・卒業認定基準.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	吉祥寺二葉栄養調理専門職学校
設置者名	学校法人 二葉総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/2025年度_財務情報.pdf
収支計算書又は損益計算書	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/2025年度_財務情報.pdf
財産目録	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/2025年度_財産目録.pdf
事業報告書	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/2025年度_事業報告.pdf
監事による監査報告（書）	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/wp-content/uploads/2026/05/2025年度_監査報告書.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		栄養専門課程	管理栄養士科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	169 単位	132 単位	9 単位	22 単位	6 単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		95 人	0 人	18 人	3 人	21 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業では、進度に合わせ随時小テストや課題の提出等を実施している。1年生では学力不足が懸念される学生については放課後に補講を実施し、基礎学力の向上を目指した取組みを行っている。担任制をとっているため、随時、相談・面接を受け付けている。進路指導については、就職支援室主導で各種セミナーも開催している。学費面でも様々な奨学金や教育ローン等を紹介し、学修が継続できるよう個別対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30 人 (100%)	0 人 (0%)	29 人 (96.7%)	1 人 (3.3%)
（主な就職、業界等） 福祉施設、病院、受託給食会社、保育園、薬局			
（就職指導内容） 就職セミナー、キャリアカウンセリング			

(主な学修成果(資格・検定等)) 栄養士免許申請資格、管理栄養士国家試験受験資格、高度専門士称号付与
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119 人	6 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、規定回数以上欠席時の保証人への連絡、面談等		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		栄養専門課程	栄養士科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	82 単位	67 単位		16 単位	4 単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	総教員数
240 人		142 人	1 人		10 人		9 人	19 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
（概要） 各授業では、進度に合わせ随時小テストや課題の提出等を実施している。1年生では学力不足が懸念される学生については放課後に補講を実施し、基礎学力の向上を目指した取組みを行っている。担任制をとっているため、随時、相談・面接を受け付けている。進路指導については、就職支援室主導で各種セミナーも開催している。学費面でも様々な奨学金や教育ローン等を紹介し、学修が継続できるよう個別対応をしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70 人 (100%)	20 人 (28.6%)	41 人 (58.6%)	9 人 (12.8%)
（主な就職、業界等） 受託給食会社、保育園、スポーツ施設、ホテル・専門店、食品会社			
（就職指導内容） 就職セミナー、キャリアカウンセリング			

(主な学修成果(資格・検定等)) 栄養士免許申請資格、専門士称号付与
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	7 人	4.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、規定回数以上欠席時の保証人への連絡、面談等		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
衛生		調理専門課程	調理実践科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,860 単位時間)	33 単位 (990 単位時間)	1 単位 (30 単位時間)	30 単位 (900 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76 人		52 人	0 人	5 人	6 人	11 人	
(備考) (任意記載事項) () 内の数字 (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 各授業では、進度に合わせ随時小テストや課題の提出等を実施している。調理技術に関しては、調理技術コンクールへの参加を促し放課後に練習時間を設けるなど、技術向上を目指した取組みもしている。担任制をとっているため、随時、相談・面接を受け付けている。進路指導については、就職支援室主導で各種セミナーも開催している。学費面でも様々な奨学金や教育ローン等を紹介し、学修が継続できるよう個別対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26 人 (100%)	0 人 (0%)	24 人 (92.3%)	2 人 (7.7%)
(主な就職、業界等) 専門店、ホテル、受託給食会社			
(就職指導内容) 就職セミナー、キャリアカウンセリング			

(主な学修成果(資格・検定等)) 調理師免許申請資格、専門士称号付与、フードコーディネーター3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	6 人	9.4%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應、進路変更、経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、規定回数以上欠席時の保証人への連絡、面談等		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
衛生		調理専門課程	調理師科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	34 単位	20 単位		14 単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
76 人		32 人	0 人	4 人	6 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業では、進度に合わせ随時小テストや課題の提出等を実施している。調理技術に関しては、調理技術コンクールへの参加を促し放課後に練習時間を設けるなど、技術向上を目指した取り組みもしている。担任制をとっているため、随時、相談・面接を受け付けている。進路指導については、就職支援室主導で各種セミナーも開催している。学費面でも様々な奨学金や教育ローン等を紹介し、学修が継続できるよう個別対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47 人 (100%)	14 人 (29.8%)	27 人 (57.4%)	6 人 (12.8%)
（主な就職、業界等） 集団給食、専門店、ホテル、会館・結婚式場			
（就職指導内容） 就職セミナー、キャリアカウンセリング			
（主な学修成果（資格・検定等）） 調理師免許申請資格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	3 人	6.0%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應、進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、規定回数以上欠席時の保証人への連絡、面談等		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
管理栄養士科	170,000 円	780,000 円	700,000 円	
栄養士科	170,000 円	680,000 円	660,000 円	
調理実践科	170,000 円	670,000 円	610,000 円	
調理師科	170,000 円	640,000 円	640,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校 HP にて公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/05/2024年度自己点検・自己評価報告書.pdf		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関係する職能団体、業界団体・企業、地域団体、卒業生、保護者から成る学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は理事会、運営会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
栄養士関連 一般社団法人 役員	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	職能団体
調理師関連 公益社団法人 役員	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	職能団体
武蔵野市 一般財団法人 役員	2025. 4. 1～ 2028. 3. 31	地域団体
給食事業関連 公益社団法人 役員	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	業界団体
保育園勤務 栄養士	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	卒業生代表
	2026. 4. 1～ 2028. 3. 31	保護者代表
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校 HP にて公開している。 https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/05/【確定】2024年度学校関係者評価報告書.pdf		

(備考)
第三者評価は未実施であり、令和 10 年までに実施する予定である。上記表中の第三者評価に係る各項目は、学校関係者評価に関する情報を記載している。HP には、昨年度に学校関係者評価を行った結果を公表している。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://futaba-sogo.ac.jp/nutrition/wp-content/uploads/2025/10/◆I_2026_学校情報.pdf

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113320300015
学校名（〇〇大学 等）	吉祥寺二葉栄養調理専門職学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人二葉総合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		90 人（47人）	90 人（46人）	96 人（51人）
内 訳	第Ⅰ区分	35 人	27 人	
	（うち多子世帯）	（11人）	（－人）	
	第Ⅱ区分	16 人	22 人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（－人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	21 人	18 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人（0人）
合計（年間）				96 人（51人）
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	- 人	0 人	0 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当)	0 人	0 人	0 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0 人	0 人	- 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	- 人	- 人	- 人
計	- 人	- 人	- 人
(備考) 『右以外の大学等』欄には修業年限3年以上の学科・コースの人数を、『短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。）及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。）』欄には修業年限2年以下の学科コースの人数を、それぞれ記入			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	-人	-人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	-人	-人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	-人	-人
計	-人	18人	-人
(備考) 『右以外の大学等』欄には修業年限3年以上の学科・コースの人数を、『短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)]欄には修業年限2年以下の学科コースの人数を、それぞれ記入			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。